

2021年5月14日

各位

会社名 株式会社アズジェント
 代表者名 代表取締役社長 杉本 隆洋
 (JASDAQ・コード4288)
 問合せ先
 役職・氏名 経営企画部部長 秋山 貴彦
 電話番号 03-6853-7401

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2021年3月期 通期個別業績と前期実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 賤
前期実績(A) 2020年3月期	3,126	44	61	45	11.96
当期実績(B) 2021年3月期	2,795	△52	△38	△51	△13.55
増減額(B-A)	△331	△96	△99	△96	
増減率	△10.5%	—	—	—	

2. 理由

売上については、テレワークなど働き方の変化やDXの進展に伴うサイバーリスクの範囲拡大による新たなセキュリティ対策の認識が高まり、マーケット拡大に向けた動きが見られる中、テレワークを前提としたデジタルマーケティングによる顧客へのアプローチを強力に進めてまいりました。また、当社商品やサービスの販売チャネルであるSIerとの連携強化を図ると共に、エンドユーザーへの直接のアプローチを推進してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として緊急事態宣言が発出されたことに伴う経済停滞の影響を大きく受け、SIerやエンドユーザーにおいてシステム構築や納入の遅延が年間を通じて生じる結果となりました。当事業年度後半には公共向けも含めた大型案件の調達の一部開始され、また、コネクテッドカー分野においてもいくつかのプロジェクトで最終選考にコマをすすめる等、明るい兆しは見えております。しかしながら、次年度以降に繰り越された大型案件もあり、それ以前からの構築や納入の遅れによる売上減少をカバーするには至らず、売上高2,795百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

コストについては、新型コロナウイルス感染拡大対策として在宅勤務を推進したことにより、営業活動関連費を抑制する事が出来ました。また、前期で計上していた貸倒引当金繰り入れの戻入を行ったことで販売費及び一般管理費1,202百万円(前年同期比9.9%減)となったものの、売上の遅れを取り戻すには至りませんでした。

以上